



職員の絵が大賞受賞

当院の中窪由唯クラークの作品「文鳥の森」(6号・アクリル)が、『第9回みやにち夢ひろがる小品展』にて大賞に選ばれました。

中窪クラーク、おめでとうございます！！

受賞作品は、当院1階の放射線室前の廊下に展示しています。

ぜひ、ご覧ください。



今月のお花

小林華道連盟の皆様から、すばらしいお花をいただいています。



ELNEC-J 「エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的問題」

5月からスタートしたELNEC-Jの講義内容を、毎月紹介していきます。

8月9日のモジュール4では、エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的問題やアドバンス・ケア・プランニングの目的、看護倫理に基づくケアの実践について学びました。

倫理的問題とは、患者さんやご家族・医療スタッフのそれぞれの価値観や価値判断の違いから生じる問題です。倫理的問題を未然に防ぐには、疾患に対する知識だけでなく、患者さんやご家族の気持ちの理解やコミュニケーションスキルを高める努力も必要です。

また、個々の事例を尊重し『患者さんにとっての最善は何か』を常に考えることが重要です。

ELNEC-Jとは

「米国のアメリカ看護大学協会とCity National medical Centerが共同して設立した教育プログラムの日本語版です。エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力修得のための系統的なプログラムとなっています。

アドバンス・ケア・プランニングとは「もしも」に備えて、今後の治療・療養について、患者・家族と医療従事者が患者自らの意向に基づきあらかじめ話し合うプロセス。

患者さんの意向

- ・ 自宅で家族と過ごしたい
- ・ 旅行に行きたい
- ・ 好きなものを食べたい
- ・ 自然のままでもいい
- ・ 積極的な治療はしなくていい
- ・ 苦痛を緩和して欲しい

ご家族の意向

- ・ 家族で看護するのは不安
- ・ 旅行に連れて行きたい
- ・ 体にいいものを食べてほしい
- ・ もっといろんな治療を試したい
- ・ 積極的な治療をしたい
- ・ 最期まで会話がしたい

患者さんにとって最善のケア

- ・ 患者さんやご家族への情報提供
- ・ 患者さんやご家族の意思の尊重
- ・ 患者さんの権利や価値観を守る
- ・ 誰のための医療かを考える
- ・ 患者さんやご家族、多職種チームで話し合い、常に「最善」を考える



受講生からひとこと



看護師 四位 浩子

死を意識し始めた全ての方のケアを考える「エンド・オブ・ライフ・ケア」という分野です。地域包括ケア病棟で働く私にとって、患者さんの生活を支えるケアを考える時に必要な知識だと思いました。

様々な人の「生」に関わる看護師として、その人の最期を迎える時まで、より良く生きる為のお手伝いのできたらと思っています。